

平成24年度提案

提案件名	12-001 市の名称を「閑谷学校市」に変更する	提案者	グループ	区分	アイデア
------	--------------------------	-----	------	----	------

現状及び問題点	内容	効果
<p>新総合計画で示されている市の将来像では、「古くて新しい『教育のまち備前』～学びの原郷 閑谷学校が開かれたまち～」とされているが、閑谷学校の知名度は必ずしも高い状況ではなく、意図が伝わりにくい。また観光や世界遺産登録においても、その知名度アップが必須とされている。</p>	<p>新総合計画において市の将来像は、「古くて新しい『教育のまち備前』～学びの原郷 閑谷学校が開かれたまち～」とされており、新市合併10年を迎えようとする当市のイメージを市の名称そのもので表現し、計画実現の意気込みをアピールできないものかと考えた。また、市の名称に「閑谷学校」を取り入れることでインパクトを与え、市民だけでなく全国に広く関心を持ってもらえ、観光や、世界遺産登録運動への起爆剤になるのではないかと考えた。</p> <p>全国には、平成の大合併で、ひらがな地名（さいたま市、つくばみらい市）やカタカナ地名（南アルプス市）などが誕生し、市の名称からイメージアップや知名度の上昇が期待される自治体もあるので、効果も十分期待できる。また、建物の名称が市の名称になっている事例は見受けられないので、二番煎じにはならないと考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国に無いネーミング方法であり、名称変更に伴い特段自ら広報しなくとも広報でき、ニュース性もあり知名度が上がる。 ・「閑谷学校」の知名度が上がることで、観光や世界遺産登録推進への効果が期待される。 ・なぜ「教育のまち」を推進するのがよくなるのか、「教育」に絡めた施策・事業を展開しやすい。 ・世界に誇れる文化遺産である「閑谷学校」を、市民に郷土の誇りとして再認識してもらえ。 ・市のイメージアップに大いに貢献できる。



関係課意見
<p>【企画課企画政策係】</p> <p>「備前市」という市の名称は平成17年の合併時に合併協議を経て決定しています。新市の名称アンケートを実施し、アンケート総数926件のうち 住民アンケート、小中学校アンケート、ホームページ・官製はがきすべての種別のアンケートにおいて1位だったのが、「備前市」(35.6%)で2位が「東備市」(21.2%)となり最終的に「備前市」となりました。「備前市」という名称は伝統地名であり、備前焼は有名で全国的に知名度は高いです。なお提案の「閑谷学校市」という名称はありませんでした。提案の趣旨は理解できますが、名称の変更は困難であると考えます。</p> <p>ただ、香川県などでは「うどん県」など洒落の効いた名称をニックネーム的に利用しているケースもありインパクトのある取り組みであると思えます。「閑谷学校」については、市の名称を変更するのではなく、今よりもっと効率的、効果的にPRしていくための情報発信の方策を検討していきたいと考えています。</p>



職員提案審査委員会	点数	16 / 35	
採用	どちらでもない	否採用	
<p>1人 / 14人中</p> <p>●「備前市」ブランドの方がメリットは高く、実現は困難である。しかし、着想については非常に興味深いものがあり、サブネーム的に効果的な情報発信のきっかけになる提案である。</p>	<p>2人 / 14人中</p> <p>●ニックネーム的に利用することについては、検討の余地が少しあるかも。</p> <p>●提案書の「期待される効果」に記載されているように、知名度の向上は期待されるが、既存の文化、歴史、風土といったもの（備前焼等）が「備前」→「閑谷学校」に変わることでのイメージが薄くなるような懸念が残る。</p>	<p>11人 / 14人中</p> <p>●一瞬の広告効果はあるが、看板掛け替え等費用が莫大であり、また、結果的には「備前」の方が経済効果は、はるかに高いと思われる。</p> <p>●現実的に難しいかと思われる。</p> <p>●昔から市民に定着している「備前市」を、あえて変更する必要はないと思う。知名度としても備前焼の方が知られている。</p> <p>●これまでにないネーミングの方法であり、話題性としては期待できるが、「観光や、世界遺産登録運動への起爆剤」にどのようにつながるのか疑問である。市の名称変更はさまざまな部門へ影響を及ぼすものであり、変更に対応するための経費以上の効果があるとは考えにくく、実現は厳しいものとする。</p> <p>●旧国名の名称で、伝統産業を表現できる現在の「備前市」に勝るネーミングはない。市内施設の看板及び書類関係全てを変更することに、費用・時間及び手間がかかるのを合併時に経験しているので、採用は難しいと考える。</p> <p>●市の名称を「閑谷学校市」とするというのは、インパクトはあるが、名称が定着するまでかなりの時間を要し、またその間市民も行政も様々な面で混乱を生じると想像でき、現実的には困難と思われる。</p> <p>●インパクトがあり市名のPR効果は高い。ただし現在の「備前」も歴史、知名度ともに高いと考えられることから、市名を変更することについての有効性、効率性、費用対効果に疑問を感じる。</p> <p>●閑谷学校の知名度を上げることはできるかもしれないが、イメージアップ効果や、教育のまちとしてのPR手段としては疑問が残る。市民理解が得られれば、名称変更事態は困難ではないと思う。</p> <p>●企画政策係の検討とおりだと思し、たとえニックネーム的な名称となっても、教育の町と豪語するためには、かなり実現可能な構構がないと名ばかりになると思う。</p>	



庁議	採否	否採用
<p>●合併時にも名称の候補は無かった。</p> <p>●斬新過ぎる。</p> <p>●全国的には知れ渡っていない印象がある。</p> <p>●パソコンでも変換できない文字なので、インパクトはない。本市にサブネームをつけるにしても、例えば「論語を楽しむ街」とかにできるのではないかと</p>		

受賞
—